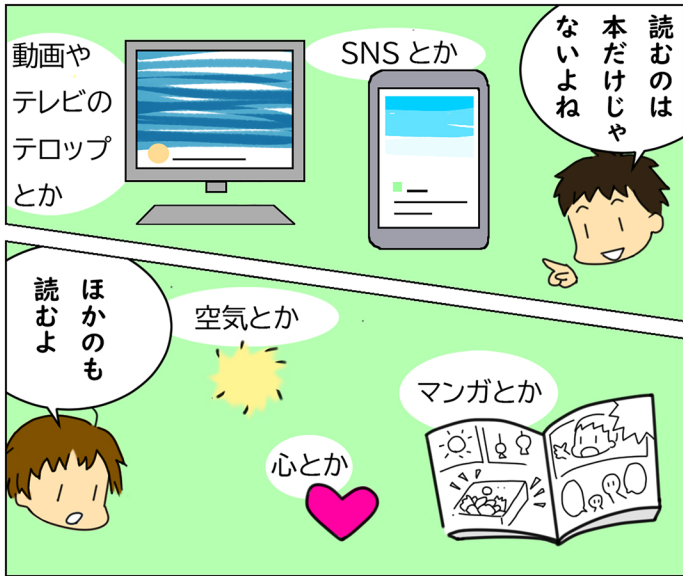
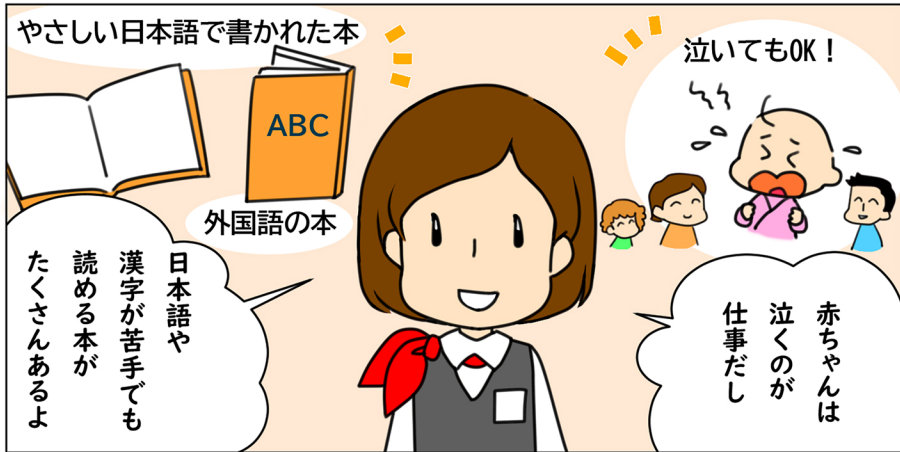
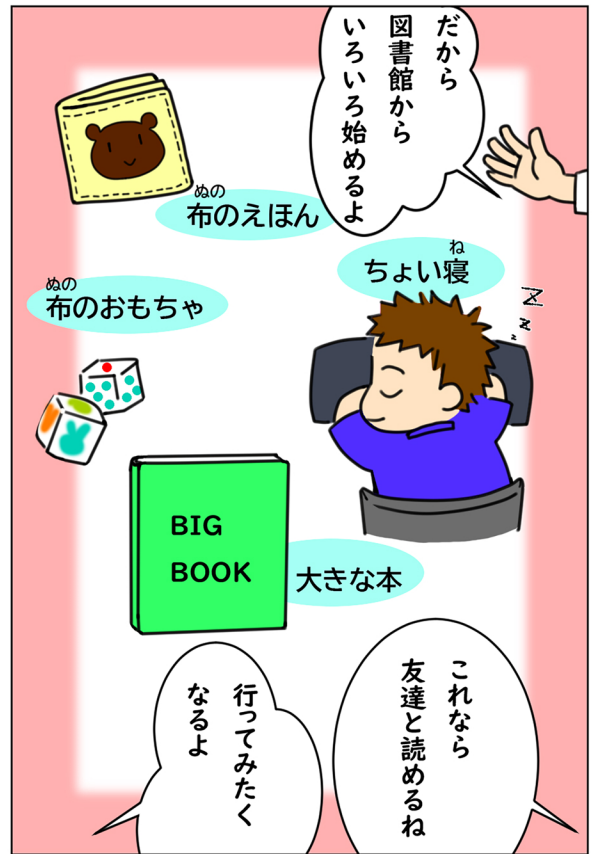
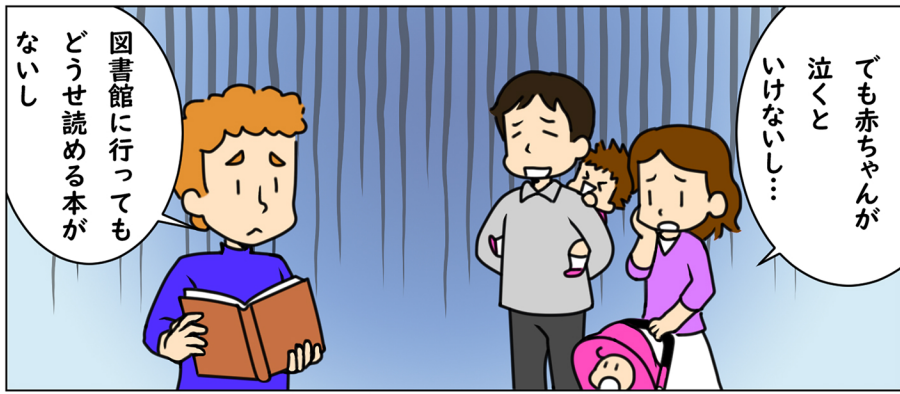


キミと、よみドキっ！

泉大津市こどもの読書活動推進計画





そんな泉大津の未来は…

調べる

わかる

『知のサイクル』が
完成

きもん
疑問

伝えられるように



友達に話したり



まとめたり



発表したり

だれ
誰もが図書館の使い方をマスター

カウンター

図書館の人に相談するといよいよ!

レポートの資料集めなきゃ

そこから!

ここに載ってるよ

キャッチャー

じゃあ予約しよっと

この本おもしろいよ



読んだり調べたりするって、
ちよびで、ピンポイントめがる!

キラキラキラ



毛布がどうやって
できるか書いてあった!
すごい

そうか、お兄ちゃんが
この本なんて楽しそうに
読んでたか、わかった!

知りたいと
思ってたこと、
ちゃんと見つけれらる
ようになった!



あれもこれも
できると
思えてくるよ!

これからしたいことが
どうやったらできるか、
わかるように
なるね

ぱあああ

全面的に
サポートするよ!!



絵本作家

宇宙飛行士

パティエ

これからの未来のこと
いろいろと
想像がギョギョ
なってるよ

「キミと、よみドキっ！」(泉大津市こどもの読書活動推進計画)

1 策定にあたって

(1) 基本的な考え方

- ・[読書]とは、文学作品を読むことに限らず、自然科学・社会科学・人文科学関係の本や新聞・雑誌を読んだり、何かを調べるために関係する本を読んだりすることなども含めたものである。そのことを大人が率先して認識し、[読む]ことの多様性をこどもに伝える。
- ・すべてのこどもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動ができるための環境整備(物理的・人的)を行うことに重きを置く。また、新たに取り組んでいくことのみを記載する。
- ・こども基本法に基づき、こどもの思いを受け、こどもと共に大人が実行するための計画である。

(2) 対象 おおむね 18 歳以下

(3) 期間 2024 年度から 2026 年度までの 3 年間

2 目標とする姿

様々な場所や方法で、こどもが自ら情報にアクセスすることができる環境を大人が整備することにより、わからないことは調べ、知ること読むことを喜びに感じ、伝えることができ、かつ将来への想像もできるようになる

3 やることと関わる人

○=生涯学習課 ●=学校 ▼=指導課 ◆=こども育成課 ▽=教育政策課
△=こども政策課 ◇=障がい福祉課 □=都市づくり政策課 ■=資産活用課 ◎=地域

- ①こどもが使いやすい市立図書館・学校図書館の整備[○・●・▼・▽・■・◎]
- ②こどもが読みたくなる資料の収集及び提供[○・●・◆・◎]
- ③こどもが情報の選択をできるようになる取り組み[○・●・◎]
- ④こどもが読むことに触れられる場所の整備[○・●・▼・◆・□・◎]
- ⑤こどもが読みやすい多様な資料の収集及び提供[○・●・▼・△・◇・◎]
- ⑥こどもが情報をアウトプットできる取り組み[○・●・◎]
- ⑦こどもが読むことをサポートする読書器具の設置[○・●・▼・◇・◎]
- ⑧こどもが読むことをサポートする取り組み[○・●・◇・◎]
- ⑨こどもが読むことをサポートする大人の増加[○・●・▼・◎]
- ⑩こどもが読むことをサポートする人材育成[○・●・▼・◇・◎]

4 成果の判断手法

市立図書館員、学校図書館員、市役所関係各課、地域の大人、図書館協議会委員が、こどもと共にこどもの読書環境について評価する場を年1回設けます

5 みなさまにお聞きします

大人へ : こどもたちにどんな環境を提供できますか? _____

こどもへ : 読むために足りていない環境はなんですか? _____

